

農福連携貸し農園 開園

春日井、障害者雇用を促進



企業の障害者雇用を目的として開園した「わくはびねす農園」＝春日井市神屋町で

障害のある人たちの就労を支援する「エスプールのラス」（東京都）は、春日井市神屋町に、障害者雇用を目的とした企業向け貸し農園「わくはびねす農園」を開園した。五日、同所で開園式があった。

農園を借りた企業に対して、農園で働く障害者の採用をエス社が支援する。

わくはびねす農園は既に全国十五カ所があり、計千三百人以上の障害者雇用を生み出している。県内では豊明市、みよし市に続き三カ所目。

春日井市の農園は約一万

一千平方メートル。敷地には、かまぼこ形の骨組みを幾つもつなげたビニールハウスが計四棟ある。区画を分割して企業に貸し出し、計七十五人の障害者と障害者を支える人材二十五人の雇用を見込む。

現在、障害者を二十人を雇用する村田製作所（京都府）など計八社に貸し出し済みだという。

ハウス内では養液栽培で季節の野菜や果物を育てる。土の代わりに軽石を使うことで砂ぼこりが舞わず、くわも使用しない。

開園式で、伊藤太市長は「市内では十一月にふれあい農業公園も開設予定。農を通して障害者の雇用が生まれることに感謝しま

す」と話した。エス社の和田一紀社長は「一人でも多くの障害者を雇用し、社会に貢献する人材を増やしたい」と期待した。

（丸山耀平）